

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第25回助成事業 審査講評

### 全体講評

運営委員長 土井 良浩

#### ■今年度助成事業の応募状況

今年度助成事業は、2017年3月から「はじめの一步部門」、「まちづくり活動部門」、「10代まちづくり部門」の全3部門の募集を開始し、一步部門5件、活動部門24件（1回目13件、2回目11件、3回目なし）、10代部門1件の全30件の応募がありました。応募数は昨年度と同数で、初めてファンドに助成申請したグループからの応募は14件ありました。その後、1グループ（活動部門2回目）から審査辞退の申し出があり、最終的な申請金額は計897万円となりました。6月4日（日）、三茶しゃれなあどにて、第25回公開審査会が開催され、その結果、全29件への助成が決定しました（助成総額は498.6万円）。

#### ■採択された企画について

今年度採択された活動企画の特徴ですが、活動の舞台という観点で見ると、街の様子が大きく変化しつつある下北沢で実施される企画が5件と多数あり、瀬田四丁目広場における活動企画も3件ありました。活動のテーマとしては、昨年に引き続き、子どもを対象とする学び・遊びの場の創出・運営や子育て中の親のサポートにかかわる活動が10件近くみられ、中でもプレーパークや子どもの屋外遊び場に関わる企画が3件あったのは特徴的でした。インバウンドをテーマとする活動が2件あったことも興味深く、外国人観光客が世田谷にも増加しつつあることを示すものといえるでしょう。それから、活動主体や構成メンバーの点でいえば、学生が中心となるプロジェクトが10代部門も含めて4件ありましたが、このように若者が担い手となる取り組みが一角を占めるのも近年の傾向といえます。一方、20年以上の長きにわたって地道に子ども向けの活動に取り組んでこられた、二つのグループがファンドに応募してきて下さったことは、新鮮な驚きでした。

改めまして、採択されたグループの皆さん、おめでとうございます。全体予算の制約から、大半のグループは当初申請額通りの助成には至りませんでした。そこは智慧を絞っていただき、グループ間でお互いの資源を交換するなどして、来年3月まで実り多き活動を展開されることを期待しています。活動する中で困ったことがあったり、他団体とのつながりを持ちたくなったりしたときは、世田谷トラストまちづくりに相談して、情報やノウハウの支援を受けたり、ネットワークをつくったりして活動を進めていってください。

#### ■昨年度助成事業の活動発表会について

公開審査会の1週間前、昨年度「まちづくり活動部門3回目」を迎えた助成グループと今年度助成継続を希望されないグループの皆さんにお集まりいただき、第24回助成事業の活動発表会が開催されました。当日は各グループから一年間の成果を発表していただいたほか、その間に生まれたグループ間の繋がりをお話していただいたり、お互いの発表を聞き合っって他グループの活動にコメントしていただいたりしました。昨年と同様、採択させていただいて良かったと感じられる充実した時間を過ごすことができました。

なお、今年度の助成事業には「まちづくり活動部門3回目」の応募がありませんでした。これは第5回助成事業（1997年）以来、20年ぶりのことです。発表会で活動部門2回目の助成グループの報告を拝聴しましたが、「計画が予定通り遂行され当初の目標が2年間で達成された」、あるいは「今年度はファンド助成なしに活動してゆく道筋が付き今後も活動継続してゆく」とのことでした。順調な一年を過ごされたこと、期待以上の成果を上げられたことをとても嬉しく思います。

#### ■おわりに

ひとつお知らせがあります。「キラ星応援コミュニティ部門」についてですが、今年度は7月24日（月）から8月28日（月）まで企画提案を募集します。二子玉川のカタリストBAにおいて、9月22日（金）に一次審査会、12月2日（土）に本審査会を予定しています。同部門は現在ファンドの他の部門で助成を受けているグループも応募可能ですので、ぜひご検討ください。応募の手引き等は三井住友信託銀行のホームページに掲載されています。なお、募集開始のタイミングで7月22日（金）14時から、カタリストBAで「キラ星応援コミュニティギャザリング」を開催します。同部門で助成を受けているグループ、これから応募しようとしているグループに加え、グループを応援したいという意欲を持った方々が集まるオープンな場ですので、是非こちらにもご参加いただければ幸いです。

最後になりますが、世田谷まちづくりファンド助成事業は今回で25回目を迎えました。過去のデータを参照すると、今回の助成グループを含めて、366グループ（キラ星部門を除く）、延べ702件に助成してきたこととなります。四半世紀にわたって、まちづくりファンドの助成を通じて、非常に沢山の市民の方々が世田谷のまちづくりに貢献されてきたことに心から敬意を表したいと思います。今後も引き続き当ファンドの運営へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上